山梨日日新聞
昭和57年（1982年）　3月18日　木曜日

"太陽の村"明野を証明

村と中学が放射エネルギー観測

年間の半数以上が晴天

峡北支局 0552②0158

明野村と明野中学校気象観測委員会はこのほど、村の日照時間と太陽放射エネルギーなどの観測結果をまとめた。五十五年八月から五十六年七月までの一年間の結果で、日照時間は二千七百九十七時間と県平均より五百四十時間、全国平均より八百五時間も多く、"太陽の村"を実証した。

同村はローカルエネルギーの開発をするため、上手地区に約二百五十万円をかけて気象観測所を設け、五十五年八月から本格的に観測を始めた。観測は同委員会（奥石真委員長、十二人）に依頼した。口野道男同中教諭の指導で現在も観測を続けている。観測方法は一日三時間おきに八回観測して平均、最高、最低気温を調べた。日照時間は一平方当たり一分間に〇・四カロリー以上の場合を「日照あり」とした。

それによると、日照時間の最高は五月の二百七十五時間、最低は九月の百七十七時間で年間の総合日照時間二千七百九十七時間だった。特に冷夏といわれた五十五年八―十一月と五十六年同期を比較すると、五十五年は七百九十八時間（県平均六百二十四時間）で、五十六年は九百二十二時間（同六百八十六時間）と、冷夏時の明野の日照時間は、冷夏でも県平均よりもはるかに上回っていた。

太陽放射エネルギーをみると、一平方㍍当たりの一日平均で三百二十七カロリーで、春が三百七十五カロリーから四百四十カロリーと高いことが分かった。また天気の変化をみると、村は快晴、晴れの日が二百一日と多く、甲府の百二十日をはるかにしのいでいる。年間平均五五％は晴天であった。これに対し、曇り、雨などは三十四日と甲府の百八日に比べ、ぐっと少ない。明野はカラッとした陽性の天気が特色といえる。

そのほか平均気温、年間雨量、年間湿度などを調べているが、平均気温は一〇・三度で県平均より三・三度低く、雨量は八二六㍉で県の九五四・五㍉より少ない。年間湿度は各月の最低湿度の平均で、五一・四％と県の四五・七％よりやや高い結果が出た。

北西小6年が校歌板贈る

韮崎

韮崎市の韮崎北西小学校の六年生五十八人は二十四日の卒業式を前に、同小に卒業記念として全員が一字一字を彫って合わせた校歌板を贈った＝写真。子供たちは四年間歌いなれた校歌を、心を込めて彫り、まだ四年の歴史の同校に残したいと五㌢角のホウの木三百十二枚を使って製作、玄関横に掲げた。